

科目名	アートワールド Introduction to Art	担当者	カマチ マサエ 蒲池 昌江	所属	NPEB	学年	1-4	期別	後学期	必選	選択	単位	2																																
	<p>1. 到達目標及びテーマ</p> <p>アート（美術）は現代社会において文化的に豊かな生活を営むために欠かせないものである。アート作品が持つ多彩な表現は、私たちに多様な解釈や新たな価値観をもたらす社会で生きるための広範な視野を拓かせてくれる。様々な問題を抱え混迷する今日の社会においてアートは私たちに何らかの問題解決の糸口を示唆してくれるものである。</p> <p>本科目では、日本・西洋・アジアの美術史を概観しながらベーシックな美学的知識を身につけ、実際に美術作品をディスカッション形式で鑑賞することにより言語表現力やコミュニケーション力を培いながら美的思考を養う。さらに現在のアートと社会の関わりについて学び、アートの新たな役割や可能性について理解を深める。</p>																																												
<p>2. 授業概要</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 導入として「アート」および「美術」の概念についての見解を知る。 2. 日本・西洋・アジアの美術史を「表現の歴史と社会」をキーワードに概観し、社会を反映し人々の生活に密接に関わってきた美術表現の面白さについて学ぶ。 3. 投影画像や実物を見ながら美術作品をディスカッション形式で鑑賞し、表現を読み解く。 4. 昨今、様々なかたちで実践されているアートプロジェクトやアートセラピー、エイブルアートについての事例を学び、アートと社会の関係性やアートの役割について考察する。 5. 自分のアイデアを生かしたアートプログラムの企画に挑戦する。 																																													
<p>3. 授業計画</p> <table border="1"> <tr> <td>1</td> <td>オリエンテーション～アートの概念について アート作品を読み解く ～VTS（ヴィジュアル・シンキング・ストラテジー）を用いた鑑賞1</td> <td>9</td> <td>美術表現の歴史 西洋美術4 ～現代美術</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>美術表現の歴史 日本美術1 ～原始の想像力 ～東アジア仏教美術の受容と展開</td> <td>10</td> <td>美術表現の歴史 アジア美術1 ～アジアの近代美術</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>美術表現の歴史 日本美術2 ～「かざり」の黄金時代と意匠 ～町人美術の形成と成熟</td> <td>11</td> <td>美術表現の歴史 アジア美術2 ～アジアの現代美術</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>美術表現の歴史 日本美術3 ～西洋との出会い ～近代美術の成熟と挫折</td> <td>12</td> <td>美術館での作品鑑賞 ～VTS（ヴィジュアル・シンキング・ストラテジー）を用いた鑑賞2</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>美術表現の歴史 日本美術4 ～戦争画と戦後前衛美術 ～現代美術と大衆文化</td> <td>13</td> <td>多様な表現がもたらすアートの役割と可能性 ～アートプロジェクト ～アートセラピー、エイブルアート</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>美術表現の歴史 西洋美術1 ～原始・古代から中世まで</td> <td>14</td> <td>アートプログラムの企画</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>美術表現の歴史 西洋美術2 ～ルネサンスの時代 ～市民社会の芸術表現へ</td> <td>15</td> <td>総括および試験</td> </tr> <tr> <td>8</td> <td>美術表現の歴史 西洋美術3 ～近代からポストモダンへ</td> <td>16</td> <td></td> </tr> </table>														1	オリエンテーション～アートの概念について アート作品を読み解く ～VTS（ヴィジュアル・シンキング・ストラテジー）を用いた鑑賞1	9	美術表現の歴史 西洋美術4 ～現代美術	2	美術表現の歴史 日本美術1 ～原始の想像力 ～東アジア仏教美術の受容と展開	10	美術表現の歴史 アジア美術1 ～アジアの近代美術	3	美術表現の歴史 日本美術2 ～「かざり」の黄金時代と意匠 ～町人美術の形成と成熟	11	美術表現の歴史 アジア美術2 ～アジアの現代美術	4	美術表現の歴史 日本美術3 ～西洋との出会い ～近代美術の成熟と挫折	12	美術館での作品鑑賞 ～VTS（ヴィジュアル・シンキング・ストラテジー）を用いた鑑賞2	5	美術表現の歴史 日本美術4 ～戦争画と戦後前衛美術 ～現代美術と大衆文化	13	多様な表現がもたらすアートの役割と可能性 ～アートプロジェクト ～アートセラピー、エイブルアート	6	美術表現の歴史 西洋美術1 ～原始・古代から中世まで	14	アートプログラムの企画	7	美術表現の歴史 西洋美術2 ～ルネサンスの時代 ～市民社会の芸術表現へ	15	総括および試験	8	美術表現の歴史 西洋美術3 ～近代からポストモダンへ	16	
1	オリエンテーション～アートの概念について アート作品を読み解く ～VTS（ヴィジュアル・シンキング・ストラテジー）を用いた鑑賞1	9	美術表現の歴史 西洋美術4 ～現代美術																																										
2	美術表現の歴史 日本美術1 ～原始の想像力 ～東アジア仏教美術の受容と展開	10	美術表現の歴史 アジア美術1 ～アジアの近代美術																																										
3	美術表現の歴史 日本美術2 ～「かざり」の黄金時代と意匠 ～町人美術の形成と成熟	11	美術表現の歴史 アジア美術2 ～アジアの現代美術																																										
4	美術表現の歴史 日本美術3 ～西洋との出会い ～近代美術の成熟と挫折	12	美術館での作品鑑賞 ～VTS（ヴィジュアル・シンキング・ストラテジー）を用いた鑑賞2																																										
5	美術表現の歴史 日本美術4 ～戦争画と戦後前衛美術 ～現代美術と大衆文化	13	多様な表現がもたらすアートの役割と可能性 ～アートプロジェクト ～アートセラピー、エイブルアート																																										
6	美術表現の歴史 西洋美術1 ～原始・古代から中世まで	14	アートプログラムの企画																																										
7	美術表現の歴史 西洋美術2 ～ルネサンスの時代 ～市民社会の芸術表現へ	15	総括および試験																																										
8	美術表現の歴史 西洋美術3 ～近代からポストモダンへ	16																																											
<p>4. 評価方法</p> <p>ワークシート等提出物および記述式筆記試験による。また、授業中のディスカッションやプレゼンテーション等への参加態度についても評価対象とする。</p>																																													
<p>5. テキスト及び参考書</p>																																													

テキスト：プリント資料を随時配付

参考書：辻惟雄「日本美術の歴史」東京大学出版会、高階秀爾監修「西洋美術史」美術出版社、早坂優子「鑑賞のための西洋美術史入門」、美術手帖編集部 編「アジアの美術 改訂増補」美術出版社

6．事前学習・事後学習

事前学習：授業の最後に次回の内容と準備について予告するので、内容を把握しておくこと。

事後学習：授業で配付した資料をもとに内容を整理しておく。授業の中で紹介する参考書籍を読むなどしてさらなる理解に努めること。

7．その他

日頃から美術館やギャラリー、アートスペース等を訪れ、展覧会等を観て多くの作品に触れるようにする。また、展覧会やアートイベント等で実施されているワークショップやアートプロジェクト等にも積極的に参加してみる。